

# 無限の可能性を引き出す商業(ビジネス)教育

## ビジネスコラボレーションプログラム推進

## 地域産業界及び大学・専門学校等との連携教育

(めざすは、会計・情報のスペシャリスト、起業家)

### 1 簿記・情報処理の専門講座の開設



高松大学及び穴吹学園、ビーマックス専門学校と連携し、より高い知識・技術の取得をめざした講座を開設しています。将来、会計や情報のスペシャリスト(職業会計人・情報処理技術者)を希望する生徒を対象としています。

将来の情報のスペシャリストを目標に、基本情報技術者試験合格をめざして学習しています。講師は、専門学校の教員です。受講者は、各校から集まっています。簿記については、日商簿記1級対策講座を穴吹学園と連携して行っています。

【坂出商業高校での講座風景】

### 2 地域産業界等と連携したアントレプレナーシップ(起業家)教育の推進



高松大学大学院ベンチャークリエーション研究所、四国経済産業局、香川経済同友会、香川県中小企業家同友会と連携し、将来の起業家をめざし「かがわの高校生ビジネスアイデアコンテスト」を実施しています。

創業・ベンチャー国民フォーラム主催の「Japan Venture Awards 2009」で、「ビジネスアイデアコンテスト実行委員会」が、起業教育部門奨励賞を受賞しました。

将来の起業家をめざし、各校の生徒が自発的に創造力を発揮し、ビジネスアイデアを競い合います。



【高松大学でのコンテスト風景】

### 3 高松大学と職業会計人育成連携教育の推進

高松大学において、高等学校で日商簿記2級(もしくは全商簿記1級)以上取得者を中心にクラス編成し、会計コースカリキュラム(職業会計人育成プログラム)を開講、特に優秀な人には奨学生制度があります。

税理士試験受験モデルの一例

大学1年	大学2年	大学3年	大学4年	大学院1年
日商簿記1級	簿記論	財務諸表論	法人税法 相続税法	消費税

※会計士育成コースも高松大学において用意されています。

#### 税理士に

大学院に進学し、会計学関係の修士学位取得者には税理士科目の内、簿記論or財務諸表論のいずれかが免除されます。

#### ビジネス科目を生かした進路実績

- 簿記検定1級合格を生かし香川大学へ進学しました。
- 基本情報技術者試験合格を生かし、尾道大学へ進学しました。
- 部活動を頑張り、スポーツ推薦で明治大学へ進学しました。
- 商業高校の特別推薦枠を活用し、立命館大学へ進学しました。
- 商業高校でのマナー、資格取得、部活動を頑張り東京電力へ就職しました。
- センター試験では、数学の代替として簿記を選択し、一般選抜で和歌山大学へ進学しました。

# 会計・情報・コミュニケーション活用能力を育てるビジネス教育

<将来のビジネスのスペシャリストへの道>の内容

普通科目	「商業」の科目		
	科目の分類 (目標資格)	科目名	学習内容
国語	基礎的科目 (目標資格) ・商業経済 ・珠算・電卓	ビジネス基礎	ビジネスに関する基礎的な知識や技術を学び、経済社会の一員として望ましい心構えを身につけ、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。
		商品と流通	商品と流通の基礎的・基本的な知識と技術を学び、ビジネスの創造の意義を学び、商品開発への態度を育てる。
数学	流通ビジネス科目 (目標資格) ・商業経済 ・珠算・電卓 ・ワープロ	商業技術	珠算・電卓、商業文書(ワープロ)、商業デザインの基礎的な技術を修得しビジネスに活用する能力を育てる。
		マーケティング	消費者の欲する商品・サービスなどを調査する知識や技術を学び、商品開発や販売計画、販売促進活動に生かす。
英語	国際経済科目 (目標資格) ・英語 ・商業経済	英語実務	英語を通してビジネスに関する実務を行うための知識や技術を学び、英語をビジネスに生かす能力を育てる。
		経済活動と法	ビジネスに必要な法規など、経済社会における法の意義等を学び、法律的に経済事象を判断する能力を育てる。
地歴公民		国際ビジネス	企業の経営、経済活動に関する知識を学び国際社会の一員として、国際ビジネスに適切に対応する能力を育てる。
		簿記	企業の取引の記録・計算・整理に関する知識・技術を学び、ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力を育てる。
理科	簿記会計科目 (目標資格) ・簿記実務 ・日商簿記 ・会計実務	会計	簿記で計数的に把握したビジネス諸活動を報告するための諸基準を学び、次の営業活動等へ生かす能力を育てる。
		原価計算	製品やサービスの提供にかかった諸費用を計算する知識技術を学び、企業の経営活動に生かせる能力を育てる。
		会計実務	ビジネスの諸活動を主体的・合理的に遂行するための知識や技術を学び簿記・会計等の知識を生かす。
保健体育	経営情報科目 (目標資格) ・情報処理 ・基本情報技術者 ・ITパスポート	情報処理	情報処理機器の活用に関する知識・技術を学び、ビジネスの諸活動で情報を適切に収集処理活用する能力を育てる。
		ビジネス情報	ビジネスに関する情報を適切に管理分析活用する知識・技術を学び、業務を合理化自動化する能力を育てる。
芸術		文書デザイン	広報活動に必要な文書の知識・技術を学び、各種メディアで作成した情報を統合、効果的に発信する能力を育てる。
		プログラミング	コンピュータ言語によるプログラミングの知識・技術を学び、コンピュータの効果的運用、情報の活用能力を育てる。
家庭	総合的科目 (目標資格) ・秘書 ・販売士	課題研究	商業に関する課題を自己設定し、その課題を解決する学習を通して、問題解決能力や自発的創造的学習態度を育てる。
		総合実践	実践的な活動を通して、ビジネス活動を主体的合理的に行う能力と態度を育てる。

・商業科では、普通科目約70%、ビジネス専門科目30%の割合で学習します。

・商業教育では、主として「会計活用能力」、「情報活用能力」、「コミュニケーション活用能力:英語等」を身につけることを重視しています。

・また、実践的な力を身につけるため、総合的科目で販売実習や模擬取引実践、インターンシップなど普通科高校では体験できない魅力的な授業もあります。

・将来、ビジネスの世界で活躍しようと思っている人は、高等学校で、ビジネスの基礎基本を学習し、卒業後即社会で活躍したり、さらに進学することによってビジネスの応用発展学習に進みましょう。

#### 注意

左表の科目一覧からそれぞれの学校にあった科目を選択し教育課程を編成しています。各校の学校案内を参考にしてください。



観音寺市商店街で販売「真狩村フェア」観音寺中央高校



生徒発案、地域まちおこしイベント「げんない学園」



志度高校 坂出市商店街での模擬パート「セキリ」 坂出商業



「かめ市」に出店 藤井高校

#### 進学のメリット

商業高校卒業生の大学・専門学校等への進学は主に経済・経営・商学科など、商業の学習内容に関連する学科になります。普通科からこの方面へ進学する人もいます。普通科からの進学との違いは、商業に関する基礎的な知識や技術をすでに有していることで、一歩も二歩もリードしていることです。当然高校で取得した資格・技術は大学・短大・専門学校卒業時において有利な財産となります。